

# 赤い靴通信 428号

私が学んだ学校は横浜商業高等学校（Y校）と言います。当時は旧制中学校でしたので、希望者は小学6年で試験を受けて入ります。中学は5年まであり大学へ行くか社会に出るのです。また中学に行かない者にはその間に高等小学校が一年、二年とあつてそこに行くこともできました。大体私のように親が商売をしている家庭の子はY校に行くので、当時の校友は伊勢佐木町、元町界隈に多くいました。皆良い仲間でした。その頃のことを思い出させてくれたのは、先日好天の中、輝く海に囲まれた横浜大榎橋ホールで行われた東京湾大感謝祭でした。Y校時代は夏になると一週間水泳訓練が有りました。本牧八聖殿近くの入り江（八王子海岸といいますが）で、午前中はY校、午後は女子商業と別れて訓練をしました。2年生以上になると最後の日には遠泳があつて約8キロ泳ぐのです。一年生の時、50〜60人参加のスタートをみて、2年生になつたら必ず参加しようと思つたのです。しかし自信があるわけではありません。父に相談すると「棄権は途中の小舟が助けてくれるからやってみたら。」と言われました。それから間もなく父は「元町プールで同級生が管理と掃除を請け負っているから聞いてみよう。今年の夏は、プールで練習すればいいじゃないか。」と言つてくれたのです。プールの練習は無料で、代わりに管理と掃除は奉仕することになり、早速オーブンからクローズ時間までよく働き良く泳ぎました。あのプールの水は湧き水で冷たく飲料水にも適しているのです。昔は外国船に重宝されたと言います。暑いインド洋を越えても腐らないと評判だつたそうです。

翌年の遠泳の日が来ました。55名参加で救助小舟は4隻。喉が潮で痛くなるから砂糖付のおせんべいを希望者に渡すと言われ、疲れたら無理をせず、すぐに棄権して救助船に乗れとも言われました。その年は先輩が多く2年生は4人でした。号砲が鳴り、岸の同級生の頑張れよ！の声で平泳ぎでゆっくりスタートしました。プールでの練習の成果もあり潮水では身体が軽く感じました。足が吊つたとかで一キロのアナウンスで一人が棄権しました。やや行くと手に触れる柔らかいものに遭遇し、暫く不気味で気持ちが悪かつたのですが、誰かがクラグだと言つたので正体がわかりました。私はクローリングが上手くなく疲れるので終始平泳ぎでした。たまに上を向いて浮きますが、遅れるとその分追いつくのが大変でした。折り返し点で皆船に捕まつて砂糖せんべいを食べているので私も三枚ほど食べました。喉の辛さが治りました。余り疲れは感じなくこれならいけると自信が付きました。波が身体を押してくれて楽になつたようです。ボートの上にはそれぞれ5、6人の棄権者が乗つていて何か食べており、無責任に「がんばれよ」など言つておりました。帰り再びクラゲに会い、これさえいなければもつと気持ち良く泳げたのになあと思つていると八王子海岸が見えました。「やったあ」と立てると思つたのですが、足が着かないのです。またしばらく泳いで砂に座れるくらいのところへたどり着きました。完泳した者同士お互いに「おめでとう」といながら這いつくつて岸に上がったのです。遠泳の折り返しで、ここは東京湾の真ん中くらいかなと思つた時、本牧の景色、千葉県の景色が見えて、自分でもこのようにできるのだと自信と優越感が生まれました。完泳者は半数くらいで2年生は2人と聞きました。よろよろ着替え室に行く途中で父が「良く泳いだな」と肩をたたいたのです。心配だつたのでしょね。その後、私はボート部に入りました。「エイト」という8人で漕ぐ細長いレール用ボートです。力がが必要です。艇庫が八幡橋にあつて東京湾にすぐ出られるのです。細い船なので横波でひっくり返るので、ボートレースは山下



11/13(日)開催「ハローよこはま 2022」イベント風景

## ～中区音楽遊々～

蒲田敏子さん「横浜文化賞受賞」おめでとう！

日時：12/2(金) 16:00～18:15 (開場 15:30)  
 場所：関内ホール・小ホール  
 料金：一般 1,200円 高校生以下 800円  
 (赤い靴関係者割引有り)  
 出演：あかいくつスタジオで活動する合唱団、  
 ゴスペルグループ、琵琶演奏

### 今後のスケジュール

★12/2(金) 「中区音楽遊々」 場所：関内小ホール 時間：16:00～18:15 ※詳細は右上の案内をご参照下さい ※赤い靴関係者割引あり・要連絡
★12/20(火) クリスマスキャロル 場所：ベイホテル東急 B2 時間：18:30～18:50 出演：赤い靴ジュニアコーラス 赤隊 ※みなとみらい LC 会員限定
★12/24(土) 25(日) クリスマスキャロル(各回・15分) 場所：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル 1Fロビー 時間：各日①15:00～ ②16:30～ 出演：赤い靴ジュニアコーラス 赤隊 観覧無料
★12/31(土) 大晦日 よこはまメルヘン 「童謡を歌い継ごう」 場所：山下公園内 「赤い靴はいた女の子像」 を囲んで 時間：12/31 23:45～1/1 0:15 参加費：無料 自由参加

松永団長のゲスト出演の情報  
 ★11月24日(木) 14時～ 杉田劇場4F 「赤い靴」と「青い目の人形」  
 2つの童謡がつなぐ横浜物語」定員50名・参加費1000円(資料代含む)  
 ★11月28日(月) 13時半～ 杉田劇場「年齢は宝ものトークコンサート」  
 出演 ボニージャックス他 参加費2000円(サポート会員料金適用)  
 お問い合わせは 045-641-3066 まで。

公園前がほとんどでした。その昔、逗子開成ボート部が先生のお見舞いに学校のボートで行つて転覆し、12人が亡くなる事故がありました。その出来事が「真白き富士の根 緑の江ノ島」の悲歌を残しました。その後開成ボート部が辞めたので、神奈川県ではY校1校だけになったのです。ボート部は未だ存在し、今は「ナツクル4」を漕ぐ女性達が新聞を賑わせています。実は私の母親の実家ですが、石川町川向かいの松影町、亀の橋の川淵で「米に船」という看板で米問屋と横浜から千葉富津までのフェリーボートを営んでいました。船は「明治丸」と言つてお客と商品を乗せて一日に1〜2往復するのです。当時東京湾には連絡船がなく、人は陸周り(おかもわり)といつて長時間かけて鉄道で横浜へ来るのです。便利な船は千葉から豚、魚、花などを人とともに運び、横浜からは機械類や観光客を運び、常に満席でした。船が着くと実家の叔父はオート3輪で米を配達するという忙しい仕事をしていた。戦後は占領地になつてしまつたので、やがて権利を京浜急行に譲渡しました。社名は京浜汽船となり、自動車も運ぶフェリーとして久里浜と千葉金谷間を結んでいます。正に東京湾にお世話になつて営業してたのです。その昔からの東京湾との縁、今再び心より感謝しています。

10月16日(日)「東京湾大感謝祭」その日、横浜市民こどもミュージカルの公演は朝一番・10時からの出演。スタッフ、キャスト、ご家族も朝早くから甲斐甲斐しく働いていました。今回は夏公演を45分版にリメイクし、2回の稽古だけで本番迎えるスケジュールで挑んだのですが、どうしてどうしてこども達1人ひとりの成長が素晴らしい、自分達が何をすることが分かり、舞台上で楽屋で生き生きと動けるようになっていたのに驚きました。当日は東京湾を背景の舞台で逆光の中、迫力のある歌にダンスにセリフに観客を巻き込んでいました。その映像が上のQRコードでご覧になれます。

「いつまでも素晴らしい東京湾でありますように。」  
 2022年10月31日  
 団長 松永 春